

# 芳賀町・高根沢町合併協議会

# 廃止決定

単独で新たなステージへ 芳賀町長 森 仁

この度、芳賀町高根沢町合併協議会を廃止することになりました。3月に発足した協議会でしたが5カ月もつたの解散であります。

宇都宮市の東という地理的要件、地勢上、産業構造上、土地利用計画等の地域指定条件、行政バランスから全く類似性の高い両町でした。2倍のキャンパスに3倍以上の夢を描いて求心力の強い町づくりを目指せると期待をもった方も多数いたことと思います。

残念ながら高根沢町からは同様の想いが一つとなつて伝わってきませんでした。芳賀町と新しい自治体を築こうという事で協議会を成立させた矢先に、別の協議会ができるという事は芳賀町民としては筋論として理解できないという考えでありました。ここに改めて町民の皆さまには、いろいろとご心配をかけましたことにつきまして心からお詫びを申し上げます。

しかし、今年の年始に掲げた重要テーマのひとつが「合併問題に結論を出し新たなステージづくりをはじめよう」ということ、芳賀町は発展途上にあります。他町をはじめ各関係機関からは行政経営、産業バランス、環境・福祉・教育など多角的に評価を受けて

います。当面は単独でもって独自性を発揮していくつもりです。私は21世紀初頭の10年間を芳賀町の揺らん期と位置づけ足腰の強い自治体を建設中でありたい。その成果は5、10年後には必ず見えてくるでしょう。農政、産業、住宅政策には密度を高め、教育福祉面ではもっと前進を図り、環境及び行政改革においては深みが増すことをお約束いたします。

時代は大きく変わろうとしています。かつてのムラ社会は交通手段の変化にともない交流人口が増大しています。テレビからインターネット社会と情報メディアが地球規模になりました。広い視野と先の見通しをしつかりと持つことの必要性と、あわせて芳賀町の土地柄、特性にあった文化風土も失つてはいけないというポリシーも大切であります。そしてこの地域の持続的な発展が保障されることによつて「ユートピア芳賀」の実現が可能となるわけです。人間誰もがストレスがなるべく少なく、スムーズに進捗することを前提とした町づくりができるよう努力するつもりです。町民の皆さまには格別のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

## 空転する合併協議

このような状況から、4月27日開催の第2回合併協議会では、合併の方式と合併の期日の基本2項目の調整だけにとどまりました。芳賀町側からは、合併協議会並立のままでは合併を前提とした実質的な議論ができないため、速やかな協議会の一本化を強く求めました。しかし、明確な回答がなかったため、宇都宮市との協議開始後一カ月以内を目途に高根沢町から回答を受けることになりました。

開催を先延ばしした6月23日開催の第3回の協議会において再度回答を求めましたが、高根沢町長からは「今の段階で宇都宮市との協議を打ち切るという合理的根拠がない。芳賀町との合併の優位性も説明できない。従って、芳賀町からの一本化の要請については、現時点においては答えることができない。」との回答でした。

このように、二つの協議会を並立させていくとする高根沢町と早期の一本化を強く求める芳賀町との違いから合併協議は膠着状態が続き、2カ月余に及ぶ調整を経て双方

## 合併協議廃止へ

このため、この状況下では今後も実質的な合併協議が進展しないと判断し、芳賀町・高根沢町合併協議会の存続の可否を協議した結果、7月5日に両町の執行部と議会の意向が協議会を廃止することで一致しました。

その後、町議会では、7月22日に臨時議会を開催し、「芳賀町・高根沢町合併協議会の廃止について」の議案が審議され、賛成全員で可決されました。以上のような経過から、芳



の考え方の一致をみることはできませんでした。

## 市町村合併、現在までの状況

### 合併を目指す

芳賀町が高根沢町との合併を進めた理由は、財政難による国から強いられる一般的な市町村合併とは違いました。行政の目指すところに高い類似性が見られ、財政力を基盤として地理、地勢、産業構造、土地利用及び環境その他において県都宇都宮市の東の核として、大きく発展できる新たな新市建設を目指したものでした。

町の考えは、当初から市町村合併は単に枠組みを求めるのではなく、将来の地域発展のビジョンを描けるものでなくてはならないとして、理想の合併相手は高根沢町として広く町民の皆さまに情報提供するとともに、議会との同一歩調により合併問題に取り組みました。

## 高根沢町との合併協

一方、高根沢町は宇都宮地域合併協議会設置議案が12月議会でも否決されたことを受け、芳賀町との合併協議へと方針を転換しました。3月1日に芳賀町・高根沢町合併協議会を立ち上げ、協定項目の協議が進められました。しかし、高根沢町長は宇都宮市との合併協議会設置を求める住民運動を受け、合併特例法に基づく住民投票を自ら請求し、4月18日に実施しました。結果は、宇都宮市との合併協議会設置に賛成が過半数を超えたため、一つの自治体に二つの合併協議会が設置される事態となりました。



## 今後の町政方針

芳賀町は高根沢町との合併協議会の廃止を踏まえ、町議会と協議のうえ、当面する次の事項を重要課題として位置づけ、早急に取り組みます。

### ●新たなビジョンのもとに

当面は単独町とすることを基本に、平成18年度からの新たな町振興計画作成に着手します。自治会を中心とする「まちづくり委員会等」を定期的に開催し住民提案型の行政を推進します。

### ●徹底した行政改革の推進

行政の効率化と合理性および行政コストの削減を目指し、徹底した行政改革を重要課題として位置づけ、新振興計画に盛り込みます。そして、町行政組織の見直しと総経費の削減を行います。

### ●地域連携を再構築

住民の日常生活に直接関係する広域行政事務事業については、当面は現状を基本に考えます。将来の方向性につい

ては関係市町と再協議し、新時代に即応できる体制を推進します。

### ●将来の展望に立つて

当合併問題については、今後は財政基盤を確立しながら現合併特例法期限にとらわれないこと、新たな視点から考えるべき課題です。

当面は単独町としての振興計画策定のため、将来の地域振興、財政状況、地理地勢および生活圏などについて幅広く住民の意思を確認するためにも、地域懇談会や住民意識調査を実施したいと考えています。



質問やご意見などは  
企画課政策推進室  
TEL 028(677)6012